

# 国際シンポジウム「ITと環境」のご案内

日時

2002年9月19日(木)・20日(金)

10:00~18:15

10:00~17:30

場所

ウ・タント国際会議場

(国際連合大学3階、東京都渋谷区神宮前5-53-70)

参加無料

同時通訳あり

主催 ITと環境イニシアチブ国際共同研究プロジェクトチーム

(株)インターリスク総研・カーネギーメロン大学・国際連合大学・東京理科大学

共催 国際交流基金日米センター、国際連合大学ゼロエミッションフォーラム、日本学術振興会168委員会

協賛 財団法人 地球環境戦略研究機関(IGES)、社団法人 日本テレワーク協会、環境経営フォーラム

## 開催趣旨

情報技術(IT)は、いまや電気や内燃機関の発明に匹敵するほどの、社会経済に大きな変革を促す駆動力となりました。個人間、企業間、さらに国家間は情報ネットワークで結ばれ、コミュニケーションの意味も飛躍的に拡大しました。e-コマース、テレワーク、サプライチェーンマネジメントなど、新しいシステムがこうして誕生しました。しかし、過去10年のITをめぐる研究は、もっぱらこのような経済社会へのプラスの側面にばかり目が向けられ、ITが環境に及ぼす影響については、あまり議論がなされていませんでした。ITは、ハードウェア製造時や消費の拡大によって新たな環境負荷を発生させる可能性があると同時に、社会産業構造の変化を通じてエネルギー消費の構造を大きく改善する可能性もあるのは言うまでもありません。

本シンポジウムでは、ITが環境にどのような影響を与え、どのような改善効果が期待できるのかを、内外の専門家による最新の研究成果と企業の取り組みから明らかにすることを目的とします。取り上げるテーマは、社会経済のマクロ的なITと環境の関係、ITハードウェアによる環境負荷、ITのビジネスモデルと環境、ITと企業の環境改善活動などで、シンポジウム最後には講演者によるパネルディスカッションも行われます。

研究者、企業の担当者、政策担当者をはじめ、環境問題に関心のある方々にとって、本シンポジウムは「ITと環境」という最新的话题を提供できる貴重な機会となるものと信じます。皆様のご参加をお待ちします。

## 会場案内

国際連合大学本部はJR渋谷駅から徒歩8分、もしくは地下鉄表参道駅出口B2(銀座線、半蔵門線、千代田線乗り入れ)から徒歩5分のところにあります。青山通りをはさんだ向かいには青山学院大学、建物の向かって左隣にはこどもの城があります。

駐車場はございませんので、公共交通手段をご利用ください。



## 申し込み先・お問合せ

同封の申し込み用紙に必要事項をご記入のうえ、次の宛先までご返送ください。先着300名の方に案内状(聴講ハガキ)をお送りします。

《シンポジウム事務局》  
〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台3-9  
株)インターリスク総研  
業務企画部 須藤

TEL:03-3259-4181(代表)  
FAX:03-3259-6986  
E-Mail:ryou@irric.co.jp

## 9月19日(木)

- 9:30 開場
- 10:00-10:05  
オープニング 東京理科大学理工学部 森 俊介教授
- 10:05-10:15  
開会祝辞 国際連合大学高等研究所所長 Hamid Zakri教授
- セッション-1: IT普及と環境影響の展望  
(司会 東京理科大学 森 俊介教授)
- 10:15-10:50 千葉商科大学 三橋規宏教授  
「情報技術は地球環境を救えるか」
- 10:50-11:25 湘南エコノメトリクス 室田泰弘氏  
SERF 高瀬香絵氏  
「IT革命の日本経済・環境に対する影響:  
シミュレーション2010」
- 11:25-12:00 東京大学 山田一郎教授  
「IT普及と環境影響の展望」
- 12:00-13:30 (昼食休憩)
- セッション-2: ITが経済と環境に及ぼす影響のマクロ分析  
(司会 カーネギーメロン大学 Scott Matthews助教授)
- 13:30-14:05 慶應義塾大学産業研究所 吉岡完治教授  
早見均助教授  
「環境産業連関分析に基づくIT革命のCO<sub>2</sub>負荷」
- 14:05-14:40 東京理科大学理工学部 森 俊介教授  
「ITによる産業構造時間的変化への影響分析」
- 14:40-15:15 国際連合大学/INSEAD Robert U. Ayres教授  
「情報技術と非情報技術が経済成長と  
エネルギー消費に果たした役割」
- 15:15-15:35 (Coffee Break)
- セッション-3: ITハードウェア製造と使用における環境負荷  
(司会 国際連合大学 Dr. Eric Williams)
- 15:35-16:10 米国エネルギー省 Dr. Tom Grahame  
「米国ITインフラストラクチャーの  
エネルギー消費」
- 16:10-16:45 超電導工学研究所 田中昭二教授  
「日本のITインフラストラクチャーの  
エネルギー消費と超伝導技術の役割」
- 16:45-17:20 カーネギーメロン大学  
Scott Matthews助教授  
「ITハードウェアのライフサイクルエネル  
ギー消費のケーススタディ」
- 17:20-17:55 富士通(株) 古賀剛志氏  
「ITを活用したエコデザインのターゲット」
- 17:55-18:15 討論
- 18:15

## 9月20日(金)

- 9:30 開場
- セッション-4: IT ビジネスモデルと環境  
(司会 湘南エコノメトリクス 室田泰弘氏)
- 10:00-10:35 カリフォルニア大学 バークレー  
Arpad Horvath教授  
「テレコミュティングの環境影響」
- 10:35-11:10 国際連合大学 Dr. Eric Williams  
「エネルギー効率とe-コマース」
- 11:10-11:45 (株)インターリスク総研 工学博士 藤本正代氏  
「日本における情報化と環境」
- 11:45-13:00 (昼食休憩)
- セッション-5: ITとゼロエミッション  
(司会 京都大学 松下和夫教授)
- 13:00-13:35 NTT環境エネルギー研究所 本庄克彦氏  
「ITと環境モニタリング」
- 13:35-14:10 地球環境戦略研究機関 今井健一氏  
「アジアにおける情報技術を活用した  
廃棄物管理」
- 14:10-14:45 AT&T Ms. Michelle Blazek  
「ITの環境インパクトに関するAT&Tの  
研究開発」
- 14:45-15:05 (Coffee Break)
- 15:05 17:20  
パネルディスカッション:  
企業はITを使って、どのように環境に貢献するか?!  
(コーディネータ (株)インターリスク総研 工学博士 藤本正代氏)
- 15:05-15:15 講演者紹介および導入
- 15:15-16:30 講演(各15分)  
東京理科大学 森 俊介教授  
NEC(株) 宇郷良介氏  
(株)リコー 則武祐二氏  
ソニー(株) 多田博之氏  
カリフォルニア大学 バークレー  
Arpad Horvath教授
- 16:30-17:30 ディスカッション
- 17:30  
閉会